



筑西労基署 広報

編集発行：筑西労働基準監督署

筑西市下中山581-2

0296(22)4564

第27号

平成22年7月22日

<4500名にメッセージをお届けしました / 全国安全週間によせて>



7月1日から7日までの全国安全週間を中心に、社内で「安全大会」等の行事・イベントを実施された事業場は多いと思います。筑西労基署では、そうした事業場に対し、労働災害防止対策の一層の推進をお願いしようと「監督署長メッセージ」をお届けいたしました。

メッセージをお届けする事業場を募ったところ27社からご応募があり、延べ4,500名にメッセージをお届けすることができました。監督署では、これからも事業場の皆様と手を携えて、災害防止活動に取り組んでゆくこととしています。(写真は、大泉砕石(株)「安全大会」の様子)

<フォークリフトの無資格運転など指導 / 石材業を対象としたパトロール結果>

6月、桜川市内の石材加工業者を重点に巡回方式で監督指導を行いました。主な目的は、重篤災害の防止と”じん肺”症の予防です。フォークリフトは運転等を誤ると重大な災害を発生させることがありますし、じん肺は石材業特有の肺疾患です。

巡回の結果、一部の事業場においてフォークリフトの無資格運転を含む安全衛生法違反が確認され、是正を指導しました。なお、主な指摘事項以下のとおりです(カッコ内は指摘件数)。

- ・フォークリフトの無資格運転(3件)
- ・防じんマスクの未着用(3件)
- ・クレーンフックの外れ止め防止措置の不備(3件)
- ・堆積粉じん除去の未実施(1件)

今回訪問できなかった事業場も含め、今後も巡回指導を継続する予定です。

(右写真は、じん肺症に罹患した肺の標本：労働者健康福祉機構HPより)



<「メンタル不調による休職者の職場復帰の進め方」 / 衛生週間準備打合せ“特別講演”決まる>

来る9月8日に開催する筑西地区「全国労働衛生週間準備打合せ」の特別講演の講師とテーマが決まりましたのでお知らせします。

平成22年 筑西地区 全国労働衛生週間準備打合せ

特別講演 「メンタル不調による休職者の職場復帰の進め方」

講師 武田 繁夫氏(三菱化学(株)人事部健康支援センター グループマネジャー)

9月8日(水)午後1時30分開始 : 茨城県西生涯学習センター 特別講演は2時頃から

心の健康問題により休業している労働者が増加しています。その一方で、休業後の職場復帰支援がスムーズに進まないという調査結果等もあり、職場復帰支援に関する社会的関心が高まっています。厚生労働

省では、「心の健康問題により休業した労働者の職場復帰支援の手引き」を作成し、実際の職場復帰にあたり事業者が行う職場復帰支援の内容を総合的に示しています。

講師の武田繁夫氏は「労働者の職場復帰支援のための方法等に関する検討委員会」の委員を務め、「手引き」の改訂にも直接参加しています。

話題～管内企業 安全大会等 の様子をご紹介します～

全従業員に対し「安全教育」を実施 / 昭和金属工業

7月1日(木)全従業員172名に対して安全教育を実施しました。筑西労基署が公表した死亡災害事例等を示し、「原因としてどんなリスクがあったのか?」「防止するに何が欠けていたか」等について、みんなで考えました。また、今年導入したAED(自動体外式除細動器)の取り扱いについて、訓練を行いました。【写真は、安全教育の様子(左)とAEDの説明(右)】



安全標語と改善提案で

安全表彰も / 大泉砕石(株)

地元の鴨鳥五所神社で全員が安全祈願の後、安全大会を開催しました。社長・常務・工場長の安全講話で始まり、安全表彰、特別講演等を行いました。安全標語と改善提案を1年分まとめて表彰して



いますので、重複受賞で“高額”賞金を手にする者も。なお大会は雰囲気を変えて、例年、社外会場で開催しています。【写真は、安全祈願(左)と安全表彰(右)】

宇宙開発の現場について講演 / NC東日本コンクリート工業(株)

災害防止対策の継続的实施と、大会を機に安全意識をより一層高めていくことを決意しました。【写真は社長挨拶】

2010安全週間(7/1~7/7)にちなんだ写真を募集しましたところ、数多くのご応募をいただき、誠にありがとうございました。ここでご紹介できなかった写真については、次回以降掲載する予定です。また茨城労働局ホームページで紹介します。



【お知らせ】

筑西労基署広報は、茨城労働局ホームページ(下記)でもご覧になれます。

http://www.ibarakiroudoukyoku.go.jp/corner_kantoku/index.html

